

### 第3学年 体育科学習指導案

日時 平成23年11月22日(火) 4校時

児童 3年2組 男18名 女13名 計31名

指導者 佐々木啓太

#### 研究課題

心と体をはずませ、運動に親しむ児童を育てる授業の工夫

#### 研究課題について（設定理由）

体育の授業において、第3学年及び4学年の目標の中に、基本的な動きや技能を身に付け、体力を養うこと、協力、公正などの態度を育てること、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てることとある。（抜粋）

発達段階上、運動種目として成立する前に基本的な動きや技能を身に付けさせること、仲良く運動し運動に親しむこと、きまりやルールを守って運動すること、健康の保持増進について理解を深めさせることは今後必要な素地となる。

そこで、仲間と声をかけ合い、活動を工夫しながら各種の運動で楽しさやコツを見つけることで自然と基本的な動きや技能を身につけ、運動に親しむ意識をもつことができると考え、本課題を設定した。

#### 1 単元名 「みんなでセストボール」(E ゲーム ア ゴール型ゲーム)

#### 2 単元について

##### (1) 児童観

児童は、低学年ではシュートゲームの学習を通して「投げる」ことを中心に学習活動してきた。3学年ではこれまでに足を使ったゴール型ゲームでラインサッカーを経験している。体育の学習での攻守混合系のゲームをした経験は少ないが、休み時間になると校庭でサッカーをして遊んだり、鬼ごっこなどしたりして活発に遊ぶ児童が多い。

児童のアンケートでは、全員が体育を好きだと答えている。また、ボール運動においてもほぼ全員が好きであることやボールを「投げる」ことについては得意だと答える児童が多かった。反面、ボールを「捕る」ことについては苦手とする児童がいた。これまで、ボールを「投げる」経験はしてきているが、ボールを「捕る」という経験が少ないのが実態である。

セストボールは、今後、ボール運動であるバスケットボールにつながるゲームである。「投げる」「捕る」という基本的なボール操作ができるようにするとともに、ルールを守ったり、学び合ったりする素地を身に付けさせたい。

##### (2) 教材観

セストボールは、攻守混合系のゴール型ゲームである。大きな特徴は、360度どこからでもシュートを狙えることである。そのため、パスの選択肢が広く、ボールを持たない児童の動き方しだいでシュートチャンスやゴールにつながる局面が多くなる。また、ゴールリングが広いいため、得点する機会も増え、得点感覚も養うことができる。児童にとってゴールするという喜びが得られやすいゲームである。

また、「投げる」「捕る」「走る」という基本的な動きや技能面を自然と高められ、作戦の戦術面を工夫して活動できるという点においても優れており、本研究課題に適した教材であるといえる。

本単元では、「パスをする」「シュートをする」「空いているスペースに走る」ことや「学び合いながら楽しくルールを守って練習やゲームをする」ことを中心に学習活動を進めていきたい。

ここで身に付けた力は、他のゴール型ゲームに内容を変えても転移し生かされるものであり、さらには、高学年のゴール型の領域にも生かされるものであると考える。

### (3) 指導観

児童の実態と教材の特性を踏まえ、前述したように「パスをする」「シュートをする」「空いているスペースに走る」ことや「学び合いながら楽しくルールを守って練習やゲームをする」ことを中心に学習活動を進めていきたい。そこで以下の点に留意しながら指導にあたりたい。

- ①ゲームに生かせるような「投げる」「捕る」といった基礎的なボール感覚を養う類似運動の工夫。
- ②技能面（ドリル）を高めたり，戦術面（タスク）を意識化させたりする運動の工夫。
- ③作戦タイム等を取り入れ，集団で学び合う場を設けること。
- ④ボールがもらえる有効なスペース見つけ，活用できるタスクゲームを工夫すること。

### 3 目標

運動への態度	・ 進んで学習に取り組み，友達と一緒に活動しようとする。
運動についての思考・判断	・ 簡単な作戦や動き方を友達と考え，話し合っている。
運動の技能	・ 基本的なボールの操作をすることができる。 ・ パスをもらうための有効な場所を見つけることができる。

### 4 指導計画

時間	1	2	3	4	5 本時	6	7	8	9	
学 習 内 容	オリエンテーション  ルール説明・動きの確認・試しのゲーム	準備運動								三年二組セストボール大会
		ドリルゲーム（基本的なボール操作を養うゲーム） ・ パスパスゲーム ・ シュートゲーム  タスクゲーム（戦術の理解やパスの良さを深めるゲーム） ・ 3対1または3対2のゲームを通して，戦術や理解や効果的なパスの良さを深めるゲームを行う。								
		ハーフコートゲーム① 3対2 ・ 基本的な動きとルールを覚え，ゲームを楽しむ。	ゲーム① 3対3 ・ 作戦・練習を生かしてゲームをする。			ゲーム① 3対3 ・ 作戦・練習を生かして全員ゴールできるようにゲームをする。				
		ゲーム①の振り返り，作戦タイム								
		ハーフコートゲーム② 3対2 ・ 基本的な動きとルールを覚え，ゲームを楽しむ。	ゲーム② 3対3 ・ ゲーム①をふまえ，作戦・練習を生かしてゲームをする。			ゲーム② 3対3 ・ ゲーム①をふまえ，相手チームの特徴を考えた作戦で全員ゴールできるようにゲームをする。				
		学習の振り返り								

### 5 本時の授業

#### (1) 目標

- |                |   |
|----------------|---|
| (運動についての思考・判断) | 簡単な作戦や有効な動き方を友達と考え，話し合おうとしている。                            |
| (運動の技能)        | 「投げる」「捕る」といった基本的なボール操作ができる。<br>パスをもらうための有効な場所を見つけることができる。 |



